令和元年度第１回ギャンブル等依存症対策研究会　議事要旨

日時：令和元年６月２５日（火）午後２時から４時１０分

場所：府庁新別館北館４階　職員会議室８

出席委員：井上研究委員、木戸研究委員、村井専門委員、河本専門委員

関係部局：ＩＲ推進局

＜議事＞

１）昨年度研究会のまとめと今年度の研究会について

＊IR推進局より、昨年度の研究会での主な意見や今後の取組みについて説明

＊引き続き、今年度の研究テーマについて確認、委員からの意見はなし

（研究テーマ）

①ギャンブル等依存症の実態把握

②事業者も参画する協議体のあり方

③ＩＴ技術を活用した先進的な依存症対策

④学術研究ネットワークのあり方

２）①ＩＴ技術を活用した先進的な依存症対策について

＊IR推進局から先進的な依存症対策研究のあり方について説明後、意見交換

（主な意見）

* ギャンブル依存症の有力な仮説として、消費のバランスを欠いてギャンブルにのめりこむことがあるため、IR内のカジノ以外のエリアにおける消費額などのデータも参考になる。
* デジタル情報だけでなく、従業員のインタビューなどのソフトな情報も必要。
* 従業員にも主体的に研究に協力してもらう方がよい。例えば、警告の発し方の違いの研究について、従業員が参画し、現場で試すなど。

　　②学術ネットワークのあり方について

＊IR推進局より、学術ネットワークのあり方について説明後、意見交換

（主な意見）

* データを共同利用できる機関とすることがのぞましい。

　③事業者も参画する協議会のあり方

　＊次回以降の研究会のテーマとすることを確認。